

授業科目名	公衆衛生看護学（産業保健）(2300256)		
時間割名	公衆衛生看護学（産業保健）(42205)		
時間割担当	新谷奈苗		
実施期	前期	単位数	2 必修
曜日・時限	木・2		

授業の目標・概要

産業保健の目的と活動を理解し、労働安全衛生管理の制度とシステム、基本法律について学ぶ。産業の場における看護職の役割と多岐にわたる健康相談と保健指導の意義や特徴について学ぶ。また、看護活動の展開方法について理解し、職場環境と人・仕事の調和への支援について考察し、産業医、地域の保健師、家庭との連携について考える。

学習の到達目標

1. 産業保健の歴史と制度を理解する。
2. 産業保健看護師の活動展開の方法と他職種との連携を学ぶ。

授業方法・形式

講義(一部演習)

授業計画

- 第1回 産業保健の定義、理念、目的
産業保健における看護活動の歴史
- 第2回 産業保健における看護師の役割・機能
現代の産業保健における看護活動と動向
- 第3回 産業保健における看護に関連した制度とシステム
労働安全に対する法制度
- 第4回 労働による健康障害の現状と課題
- 第5回 労働衛生管理の仕組み(1)
行政の組織、企業内の安全衛生管理の組織
- 第6回 労働衛生管理の仕組み(2)
労働衛生管理の方法、作業環境管理、作業管理
- 第7回 労働衛生管理の仕組み(3)
健康管理、一般健康診断、一般健康管理、特殊健康診断
- 第8回 職業性疾病の原因と予防・看護(1)
熱中症、感音性難聴、振動障害
- 第9回 職業性疾病の原因と予防・看護(2)
放射線障害、塵肺、有機溶剤中毒、金属中毒
- 第10回 職業性疾病の原因と予防・看護(3)
がん、有毒ガス中毒
- 第11回 職業性疾病の原因と予防・看護(4)
頸肩腕症候群、腰痛症、VDT(Visual Display Terminals)症候群
- 第12回 労働者におけるメンタルヘルス
セクシャルハラスメント、パワーハラスメント
- 第13回 産業保健センターにおける看護師の役割と機能
産業保健活動を進めるうえでの課題
- 第14回 家族への支援
仕事と育児・介護との両立への支援
- 第15回 まとめ

成績評価の基準

定期試験80% 演習レポート20%

授業時間外の課題

2年後期で学んだ公衆衛生看護学（地域活動）を十分復習しておくこと。

メッセージ

講義でお伝えいたします。

教材・教科書

教科書：産業保健・産業看護論（地域看護学習Guide）、日本看護協会出版会
副読本：新版 すぐに役立つ産業看護アセスメントツール、法研；新版（2014/6/10）

参考書